

年度評価シート

課名 産業政策課

施設の名 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター	指定管理者名 株式会社ピーエーシー
1 履行状況	
(1) 目標達成	
ア 利用満足度 目標値 90%以上 実績値 85.6% 達成率 95.1% 【令和4年度】実績値 90.1% 達成率 100%	
イ 利用者数 目標値 40,000人 実績値 58,251人 達成率 145% 【令和4年度】実績値 48,820人 達成率 122%	
ウ クリエーターと企業のマッチング件数 目標値 5件 実績値 12件 達成率 240% (前年度 16件)	
エ クリエーター集積 目標値 3者 実績値 4者 達成率 133% (前年度 0者)	
(2) 施設利用状況	
ア 諸室稼働率	
1F ギャラリー	利用率 88.2%
2F ギャラリー	利用率 87.5%
交流研修ルーム	利用率 40.2%
多目的ルーム	利用率 40.2%
試作創作室	利用率 24.1%
利用率全体平均 56.4%	
イ 利用者数 実績値 58,251人 (前年度 48,820人) (前年度比 119%) 【参考】令和元年度 (コロナ前) 42,795人	
(3) 人員配置状況 契約社員 6人	
(4) 業務実施状況	

静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター条例第2条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。

主な事業と参加者数は以下のとおり。

- ア クリエーター育成のための講座等の開催…講座数5回 参加人数313人
クリエイーターのための相談会…6件
- イ 文化・クリエイティブ産業の振興に関する研修、講座及び講演会の開催
…講座数13回 参加者人数 34,739名
- ウ クリエーターの創造的な活動の発表…イベント数 6回 参加者16,785名
- エ クリエーター相互及びクリエイーターと他の事業者の交流
クリエイーター交流会…HUBクリエイター 34名 スタッフ 10名
しずおかクリエイターズHUB…新規登録者 25名

- オ クリエーターの創造的な活動による新事業の創出及び既存産業の高度化の研究に対する支援
企業×クリエイター マッチングサポート…12件
企業のためのクリエイティブデザイン相談…7件
- カ 文化・クリエイティブ産業を通じた地域文化の振興
クリエイター集積サポート…4件
- キ 海外等クリエイター活動事業への支援…公開制作 1件

【検証・分析等】

利用満足度に関して、目標値の90%に届いていない項目もあるため、クリエイター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業展開をしていく必要がある。アンケート結果では、「創作やアートに興味を持った：97.4%」、「CCCのほかの事業にも参加してみたい：93.6%」と、リピーターを生み出すきっかけをつくりだしているため、今後さらに事業の質、内容を高めることで満足度の向上を期待する。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては、適切な対応がとられている。また、メディアやチラシ等の媒体により市民に対して情報発信に努めている。

【検証・分析等】

イベントごとにアンケートを実施し、意見・要望を積極的に取り入れる体制も整っている。各事業のアンケートに関しても、圧倒的にお褒めの言葉が多く、苦情・クレームはほぼない。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

当該施設では、イベントやセミナー等に参加した利用者を対象に、満足度の調査を行った。

アンケート総数 5,036人 とても思う 2,591人 そう思う 1,719人

【調査結果】

- ・ 展覧会 とても思うと回答 43.08% 思うと回答 38.67%
- ・ セミナー/WS とても思うと回答 65.08% 思うと回答 27.50%
- ・ イベント等 とても思うと回答 78.54% 思うと回答 17.65%

施設利用者に対して、アンケート形式による満足度調査を行った結果、全体では「とても思う（とても良い）」「思う（良い）」の評価が、85.6%であった。事業種別での満足度は、『セミナー/WS』が92.58%、『イベント等』が96.19%と、利用者参加形式の事業が好評を得ている。一方で、『展覧会』のみが81.75%と、目標値である90%を下回っている。

【検証・分析等】

利用者アンケートにて意見のあった「作家の方のお話が聞きたかった」「アーティストに直接話が聞けたのがよかった」を参考に、単なる展示で終えるのではなく、作品に関する説明をアーティストや事務スタッフが行ったり、トークショーなど関連プログラムも併せて実施したりする等、利用者の満足度向上につながる工夫が引き続き必要である。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算どおりに執行されており、良好である。

【検証・分析等】

指定管理業務についての収支状況については、昨年と比較して大きな変化はないものの、設備・備品の関係で経年劣化しているものもあるため、今後支出が超過する恐れがある。そのため、指定管理者とよく協議して今後の修繕の計画を定めていきたい。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、ただ展示や講座を開催するのではなく、催しと合わせてワークショップやトークショーを実施し、CCCでの経験がクリエイティブな活動に参加するきっかけとなるような工夫がみられる。一方で、アンケートで作家の話を聞きたいという意見もあるため、より参加者がアートを身近に感じることができる取組を期待したい。

具体的事業として、「静岡のすごい技、見せます。2023 材料から製品までものがたり展」では、環境に配慮したものや、地元の伝統技術を取り入れたものに着目し、静岡のものづくりの魅力啓発だけでなく、社会課題の解決を事業に取り入れようとする姿勢が評価できる。

「OUR FESTIVAL SHIZUOKA」では、様々な施設（ARTIE アートガーデン、コミュニティーホール七間町など）や団体（呉服町名店街や人宿町やどりぎ座）と連携・協力しており、3回目の開催で連携がスムーズに進んだ。市民参加型の事業については、高い評価を得られていることから、今後も中心市街地を舞台とした賑わいの創出、あらたな価値の創造に努め、さらなる連携の拡大、文化・クリエイティブ産業の振興を通じた経済の活性化が図られることを期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。